

僕たちの好きな

音楽について

TANIKAWA



TSUZUKI



2016.11.27(日)

開場14:00 開演14:30

阿倍野区民センター・大ホール

DOYO



SALON

Kensaku

Chikara



fresca

出演

パリヤーン

続木力 (ハーモニカ、リコーダー)
谷川賢作 (ピアノ、ピアノカ、アンデス)

ゲスト

谷川俊太郎 (詩朗読)

童謡サロン

深川和美 (歌) 多久雅三 (ピアノ)

GS4

井戸水清 (詩吟) 前重亮泉 (詩吟)
松下真理 (箏) 辻本公平 (尺八)

fresca

前重英美 (歌) 佐々木善暁 (コントラバス)

TANIKAWA
Shuntoro

石田麻利子 (朗読)

ISHIDA Mariko

14:00~14:20
ロビーにて

林幸治郎とオーロラ楽団 が
パフォーマンス!

ゲスト: 宮本香緒理

林幸治郎=歌、トランペット
小林信之介=クラリネット
ジャージ川口=バンジョー
森下彩 =バスクラリネット

内野真=ゴロス
青木美香子=歌
佐伯美香=歌
宮本香緒理=パーカッション

チケット

前売 ¥2,500 当日 ¥3,000

小・中・高生 前売 ¥1,000 当日 ¥1,500

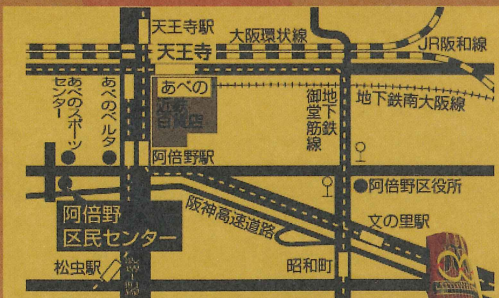
未就学児は無料

前売チケットの取り扱い所

- ・阿倍野区民センター 06-4398-9877
- ・おーらいレコード ohraisakura@yahoo.co.jp

アクセス

大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118
tel.06-4398-9877
地下鉄 谷町線「阿倍野駅」下車すぐ



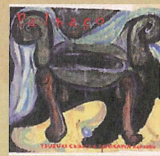
出演者のプロフィールとディスコグラフィ

パリャーツ [続木カ & 谷川賢作] Palhaço

パリャーツとは、ポルトガル語でピエロ、道化師の意味。ジャズにしっかりと軸足をおきつつも、ポップスから童謡・ラテンまでジャンルにとらわれず、古今東西の名曲を演奏する二人組。2001年12月の結成以来、ヨーロッパ各地で研鑽を積んだ続木と作・編曲家としても多彩な活動を繰り広げる谷川との粋なかけあいは多くのファンを魅了している。

続木カ

1958年京都生まれ。世界でも数少ないジャズ系のハーモニカ奏者。日本のブルース・ハーモニカの草分け、妹尾隆一郎の演奏に接し、独学する。77年にフランスへ移住、16年間にわたりパリを中心としてヨーロッパで活動し、欧州各国のミュージシャンと共演。92年に帰国。現在幅広いジャンルで活躍中。かな歌心と美しい音色は他の追従を許さない。



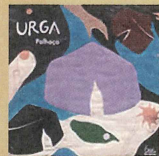
No.012
『パリャーツ』
JMCK-3002



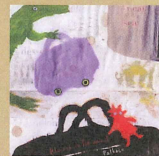
No.029
『又アージュ』
JMCK-3004



No.039
『グリオ』
JMCK-3005



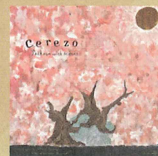
No.062
『ウルガ』
JMCK-3006



No.071
『風に吹かれて』
JMCK-3007



No.090
『スウィート・メモリーズ』
JMCK-3008



No.100
『セレソ』
JMCK-3009



No.119
『ナイト・ハーヴェスト』
JMCK-1043

谷川賢作

1960年東京生まれ。ジャズピアノを佐藤允彦に師事。演奏家として、現代詩をうたうバンド「DiVa」、ハーモニカ奏者続木カとのユニット「パリャーツ」、また父である詩人の谷川俊太郎と朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催。作・編曲の仕事をはじめ、映画やNHK「その時歴史が動いた」テーマ曲等で幅広く活躍、数々の賞を受賞する。

谷川俊太郎

1931年東京生まれ。詩人。1952年第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。1962年『月火水木金土日の歌』で第四回日本レコード大賞作詞賞、1975年『マザー・グースのうた』で日本翻訳文化賞、1982年『日々の地図』で第34回読売文学賞、1993年『世間知らず』で第1回萩原朔太郎賞、2010年『トロムソカラーズ』で第1回鮎川信夫賞など、受賞・著書多数。詩作のほか、絵本、エッセイ、翻訳、脚本、作詞など幅広く作品を発表。近年では、詩を釣る iPhone アプリ『谷川』や、郵便で詩を送る『ポエメール』など、詩の可能性を広げる新たな試みにも挑戦している。



No.016
『無限色のクレヨン
大阪ノート』
JMCK-9001



DVD-001
『無限色のクレヨン
東京スケッチ』
JMVK-1001

童謡サロン = 深川和美 & 多久雅三

童謡・唱歌・わらべうたを、オリジナリティあふれるアレンジで、観客参加型のコンサートとして全国各地で開催。日本の四季、行事、暦、遊びを織り交ぜながら、ホール公演の他にも神社、寺院、学校、美術館、病院、老人介護施設、留学生センターなど様々な場所で行っている。これまでにCDを5枚リリースし、TVやラジオにも多数出演。懐かしくてとても新しい、そんな童謡がここに 있습니다。



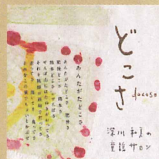
No.040
『懐はごろごろ』
JMCK-4001



No.078
『ふるさと (ライブ版)』
HIRO-1002



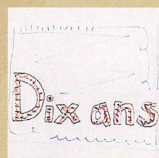
No.049
『ひらいたひらいた』
JMCK-4002



No.127
『どこさ』
JMCK-4004



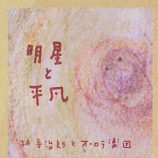
No.073
『ベチカ』
JMCK-4003



製作中
No.135
『Dix ans』
JMCK-4005

林幸治郎とオーロラ楽団

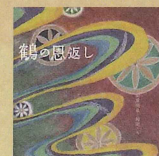
1984年、林幸治郎をリーダーとして「ちんどん通信社」を開業。持ち前の機動力と柔軟な対応力を備えたその活動は多種多様、八面六臂。従来のフィールドである商店街などの宣伝から、自治体の祭り・学校出張・企業のキャンペーンや展示会、各種カーニバル、パーティの余興、ライブハウスの出演など、幅広い活動を展開。富山・全日本ちんどんコンクールでの優勝、海外公演回数29回の実績を持つ史上最強のちんどん屋集団。



No.145
『明星と平凡』
ORCD-9015

GS4 (ジーエスフォー)

前重亮泉(詩吟)、井戸水清(詩吟)、松島真理(箏)、辻本公平(尺八)の4人によって結成されたユニット。関西を中心に、邦楽の枠を越えて様々なジャンルのミュージシャンとの共演を行うなど、その活動は多岐にわたる。2015年11月おーらいレコードより『鶴の恩返し』をリリース。



No.137
『鶴の恩返し』
ORCD-8003

石田麻利子

フリーアナウンサーとして経験を重ね、現在は朗読家として活動。朗読と音楽のコラボレーションステージ「文学賞味会—聴くという読書のかたち—」を定期的に開催し、文学作品をじっくり味わう機会をプロデュースするなど精力的に活動の場を広げている。



No.140
『夢一夜』
HIRO-3001

fresca (フレスカ)

前重英美 (vo) & 佐々木善暁 (bs)

frescaとは、スペイン語でフレッシュ、みずみずしいという意味。同じ年の子供を持つ前重英美 (vo)、佐々木善暁 (b) による二人組ユニット。子連れで行けるライブが少ないと感じ、自ら企画することを思い立ち、2014年に「fresca」を結成。子どもも連れてこられるをコンセプトに、ライブ活動を行う。2015年、ファーストアルバム「フレスカ」をリリース。



No.132
『フレスカ』
ORCD-4008

宮本香緒理

大学卒業後、打楽器奏者として様々な演奏会に参加。女性10名による和太鼓グループ「彩鼓」のメンバーとして活動する。2000年に「祈り部」を結成。ドラム、パーカッションを担当し、積極的にライブ活動を開始する。ジャズに出会い、影響される。2007年より、Jazz club「Lush Life」ハウスバンドメンバーとして、翌年「mingus」に出演、ライブハウス等で活動中。



No.122
『カワラヌ風景』
ORCD-9010